

百合樹



ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長あいさつ

「感謝の気持ちを忘れずに」

橋田 正義



卒業生の皆さんご卒業おめでとうござい
ます。保護者の皆様にお

かれましても、感慨深い思いでこの時を迎えられたことと思います。

魅力ある邇摩高校での三年間、体験活動を重視した総合学科でたくさんのごことを学び、大切な友達と出逢えたことと思います。

また、ここまで見守り、支えてくださった方々に「ありがとう」の言葉をもって感謝し、喜びを分かち合います。

そして、これからの感謝の気持ちを忘れずに、皆さんの夢の実現のために、小さな目標から一つ一つ達成していただく。夢を持つのは皆さんです。そして一步一步努力するのも皆さんです。

失敗してもいい、挫折を繰り返しても大丈夫。それは恥ずかしい事でも何でもないと思えたら、元気になれるでしょう。もちろん、失敗を活かして成功に導くには、何があっても諦めずに、コツコツと努力することが前提になると思います。

これから、社会の荒波の中に出て行き、今まで体験したことのないような辛いできごとがぶつかることが必ずあります。決して一人ではありません。人は誰かに助けられながら成長していくものです。仲間を得ることで、自分一人では出来ないことも可能になり、人の縁が次々に新たな展開を生んで、そして、

人間的に成長していきます。みなさんのこれからの人生が素晴らしい出会いで彩られるよう心から願っています。良き仲間の力を借りながら、力強くそして逞しく生きていってください。ご活躍を期待しております。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方、そしてPTA会員の皆様、本年もPTA活動にご協力いただき、ありがとうございます。PTAの運営を行うことができました。特に、文化祭では皆さんよりフリーマーケットの出品物の提供をいただき、また、文化祭当日には保護者の方で手伝いいただき、ありがとうございます。今後ともご理解・ご協力を、何卒よろしくお願い致します。

校長あいさつ



三島 一友

平素は保護者の皆様におかれましては本校の教育活動に對しまして、ご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、三年生の皆さんはいよいよ卒業という運びとなりました。この間お子様を支えてこられた保護者の皆様の感慨はひとしおであろうと推察いたします。邇摩高校は一貫してキャリア教育の充実に取り組み、地域から学び、地域に輝く人材の育成を図ってまいりました。この求める生徒像を踏まえて、「銀の哲学」をはじめ数多くの体験的な学習をカリキュラム上に配置し、実践的な学習活動を展開してまいりました。また、義務教育段階で

地域の教育資源（大田市）を学ぶ「ふるさと学習」の積み重ねの成果もあり、早い段階で地元就職を決めていたり、また他県に進学後も必ず大田に帰り地域で役に立ちたいと願う生徒が数多くいます。人口減少が著しい島根県にとりまして、何とも頼もしい若者がいる学校として各方面から評価をいただいております。

さらに、本年度から大田市にある二つの県立高校の更なる魅力化を図るために、大田市内県立高等学校支援連携協議会が発足し両校が抱える課題に対し、多様な視点から魅力アップを検討することとなりました。この協議会で各委員様から邇摩高校の取組みを改めて理解していただく機会となったり、ご意見を提言をうけ早速学校経営に取り入れたいと思うことが多々ありました。これから魅力化に向けて様々なご支援をいただくこととなり嬉しい限りですが、最大の成果は「大田の子どもは大田で育てる」と協議会で総括されたことでした。

また、大田市教育ビジョンに沿って、本年九月に大田市が委嘱した教育魅力化コーディネーターとして岡田真理子さんを配属していただきました。岡田さんは本校の生徒について「素敵な考えや豊かな感性を持っており、邇摩高校ならではの特色ある教育活動を一緒に見せていただきたいながら、もっと魅力を引き出したい」と意欲を語っていたのであります。また岡田さんが綴る邇摩高校公式フェイスブックをPTAの皆様は「いいね」と押しただけで済ませようか？
今年度の本校の教育活動を振り返ってみますと、生徒の輝き溢れる教育活動を展開する

ことができました。先ずは年間三回実施しました。漕摩高校フェアでは、各系列で地域課題の解決に創意工夫した企画が毎回あり、来場者数も250名を超える方々に足を運んでいただきました。また、漕摩高校サミットを今年度初めて実施しました。生徒会・農業クラブ・家庭クラブ役員の代表生徒が部活動の在り方や体育祭、文化祭、漕摩高校フェアの充実を図るため建設的な意見を数多く述べられました。改めて代表生徒の意識の高さに頼もしさを感じました。

その中でも、地域の伝統文化である石見神楽を部活動として認めてほしいと要望があり、教職員で慎重に検討した上で生徒総会に諮り、十月四日の臨時総会に於いて新しい部活動として産声を上げるに至りました。既に十月末に行われた第21回全国高等学校総合学科教育研究大会の開会式や文化祭、漕摩高校フェア（ウインター）に於いて上演を果たし、聴衆の皆様から惜しみないご声援をいただきました。新しい伝統として発足した「石見神楽同好会」を、今後時間をかけて地域の皆様や保護者の皆様、卒業生の皆様と共に育んでいきたいと考えます。いつの日かアメリカ合衆国ニューヨーク市、カーネギー・ホールに立たせてあげたいと密かな野望を持っています。

それでは卒業生の皆様のご多幸と、保護者の皆様のご健勝と引き続きのご支援をお願いして御挨拶いたします。

卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

長尾 三恵

人は何度やりそこなっても「もういっぺん」の勇気を失わなければ必ずものになる！

皆さんは今、夢や目標に向かって希望を抱いているのではないのでしょうか？でも、この先きつと挫折することはあるでしょう・・・何度失敗してもいい！何度くじけてもいい！「もういっぺん」の勇気を失わないで。神様は、乗り越えられる人しかその試練は与えません。あなただからこそ、その試練を与えられたのです。その後には前を向いて下さい。辛くなったら周りを見て下さい。家族や仲間が必ずいます。卒業おめでとう♥

家迫 和夫

この三年間、あなたには多くの出会いがありました。師との出会い、友との出会い、地域の人との出会い。出会うということは、あなたにとつてどうでしたか？人と人が出会うこのことを通して、全ての出会いに感謝してください。それはあなたの未来を切り開く「力」になるからです。これから社会人になるあなたには新たに多くの出会いがあります。一つ一つの出会いを大切に、これから自分の磨きの長い人生修行が始まります。

「ガンバレ」

田中 由美

卒業おめでとう。

この三年間、様々なことに頑張り貴重な体験をすることができましたね。何をしてもなかなかうまくいかず、悔しさやもどかしさもたくさん味わったことと思います。しかしそんな中でも、あなたの周りには素敵な友が、

いつもいてくれました。一緒に笑ったり、泣いたりして過ごしてきた大切な友だちが・・・どんなに大きな存在だったことでしょう。

これから自分の将来、夢に向かって歩んでいく中で、辛いことやしんどいことがきつと今まで以上に待っています。そんな時、どう踏み張れるかが大事です。どうぞこれまで経験したことを、大きな肥やしとして最後まで諦めないで頑張つて欲しいと強く願います。そして、これからも人との出会いを大切に、いつも人のことを思つてあげられる優しい人でいてください。応援しています。



卒業生より

前生徒会長 大谷 純生

漕摩高等学校の三年間を振り返ると、楽しい思い出がいっぱいありませんでした。入学当初は、自ら考え行動することが出来ず沢山の方々に迷惑をかけたと思います。時には、友人関係で悩んだことや進路に悩み、涙を流したこともありましたが、自分の出来ること、出来ないことを真摯に受けとめて乗り越える力を身に付けたと自負しています（笑）。

私は高校三年間で、信頼できる友人や先生と沢山出会い、地域の伝統に触れ合い、私の人生を支えてくれる家族の愛と、「出愛う」ことが出来ました。私は、県外に出て、親の手料理や我が家の安心感が恋しくなると思います。が、自立した生活を送れるように頑張ります。

ドキドキしながら初めての漕摩高校に登校した入学式が、ついこの間のように感じます。体育祭や文化祭、そして漕摩高フェアなどとても充実した高校生活でした。特に一つ一つのフェアを全員で作りに上げることが出来たのは、私にとって大切な思い出です。過ごして行く中で悩むこともありましたが、お忙しい中でも話を熱心に聞いてくださった先生方やいつも側にいてくれた友達に支えられ、乗り越えることが出来ました。一、二年生には、一つ一つの出会いを大切に過ごしてほしいです。

三年間本当にありがとうございました。私にとって、漕摩高校で過ごした三年間はとても充実していました。三年の県総体が終わるまでは、部活動が中心の毎日でした。楽しいことばかりではなかったけれど、自分を大きく成長させてくれた場所でした。

三年二組 松浦 菜々海

部活動引退後、ぼつかり空いた穴をどうやって埋めていけば良いのだろうと思つたのも束の間で、体育祭、文化祭、フェアなどを仲間と一緒に作り上げていく中で絆が深まり達成感を感じました。在校生のみなさん、三年間は本当にあつという間です。支えてくださる先生方や友達を大切に、楽しく充実した高校生活を送ってください。

漕摩高校に入学して、たくさんの人と出会うことができました。体育祭や文化祭、球技

三年三組 田中 咲香

漕摩高校に入校して、たくさんの人と出会うことができました。体育祭や文化祭、球技

大会などの行事は本当に楽しかったです。でも、特別なことのない授業だけの日々も思い出に残っています。毎日友達と話をしたり、ご飯を食べたり、部活をしたり、今思うと、笑顔の絶えない日々だったなと思います。三年間はあつという間でしたが、卒業することが嫌なくらい思い出が来ました。こんなに充実した高校生活を作ってくれた友達や先生、そして家族に本当に感謝します。遷摩高生で本当に良かったです。三年間、ありがとうございました。

教職員より

「贈る言葉」



三年学年主任

松田 直子

「卒業おめでとう」ございます。

一日一日を積み重ね、この日を迎えることができましたね。三年の間には、辛い日や、気が向かない日もあったでしょう。でもそんな中、自分を見つめ、何が大切か目を凝らし、頑張り続け、今日巣立ちを迎えた。高校卒業は、目標に向けて努力する力を持っている証です。成し得た自分を誇りに思い、保護者のみなさんをはじめ、支えてくださった人々に感謝して、次のステージへ旅立ってください。長い人生、色々あるでしょうが、人生の「あいうえお」といわれる「愛命運縁恩」を大切に、豊かに生きてください。みんなに幸あれ。

「社会で活躍される皆さんへ」

進路指導部長 布施武司
三年生の皆さんへ。卒業おめでとうござい
ます。
数年前から入社後早期の離職率が問題となり、早期離職は社会的に不利な立場に置かれることがあるようです。離職の原因に「仕事が自分に合わなかった」が挙げられています。



就職後、こんなはずではなかったと思うことがあ

るでしょう。事務職として採用されても、苦
手な接客もしなければならぬ、サービス職
なのに事務的なことも任されるなど、あらゆる職種で自分が思っていた仕事内容と違っていることがあります。すぐにあきらめず、前向きに現状への順応に努めて欲しいと思います。すなわち「仕事に自分を合わせる努力をする」ことしかありません。皆さんは「仕事に自分を合わせる努力をする」ことで「自分に合った仕事」にされるものと期待します。世のため人のために働き、社会に貢献する人として活躍されることをお祈りいたします。

「たくさんのお会いに感謝して」

三年一組担任 仁宮 美絵子



「ありがとう」という言葉を、まずみなさんに伝えたいです。みなさんと過ごした三年間の中で、私はたくさんさんの喜びと出会うことができました。一緒に笑いあつた日々。悩み苦しむ、それを乗り越えていく姿を応援した日々。何気ない日常のど

こをどう切り取っても、とても愛しく宝物のようにキラキラと輝いています。

みなさんの旅立ちに寂しさを感じていないと言えましょう。未来に向かって羽ばたく姿を、涙を吞んで応援します！急がなくていいから、一步一步ゆっくり進んで行ってください。

ステキな三年間をありがとう！そして、卒業おめでとう。

「感謝」

三年二組担任 渡辺 大介



卒業生・保護者の皆様、ご卒業、おめでとうございます。一年生の時から三年間、皆と一緒に汗と涙を流し、一日一日をかみしめながら過ごすことができたことを本当に誇りに思います。

さて、皆の心には今、どんな思いが
あるか？夢と希望に満ちた将来への希望や不安もあつたと思います。三年間同じ学び舎で過ごした友人との別れを悲しむ気持ちももちろんあると思います。そして、これからの長い人生の中で、様々なことが皆の前に立ちまはるかと思えますが、どんな時も「感謝」の気持ち
を忘れないでください。自分だけの力では生きてはいけません。様々なことに「感謝」しながら、大きく成長してください。いつも皆のことを応援しています。

「卒業おめでとう」

三年三組担任 石崎 敏彦

「卒業、本当におめでとうござい

た、保護者の皆様には三年間多方面にわたり御支援・御協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。さて、皆さんとは、一年生の時から三年間お付き合いをさせてもらいました。



三年間で皆さん大きく成長されましたね。つらいことや悲しいことうれしいこと多くの出来事があった学校生活で一人一人

が大人になっていきました。これからは、社会人としてさらなる飛躍を願っています。最後に社会に出ていく皆さんへ一言。
努力して後悔した人を見たことがない。
練習して下手になる人もいない。
勉強して馬鹿になる人もいない。
何かをして変わった人はいない。
何もしないで変わった人はいない。
これからもチャレンジし、社会を生き抜いてください。卒業、本当におめでとう。

後期の出来事

○校内ロードレース大会（十一月二日）男子10・0 km、女子8・0 kmを颯爽と走りぬきました。

○文化祭（十一月十八日・十九日）「瞬」をテーマに、オープニングセレモニー、生徒会企画、ファッションショー、展示・体験、模擬店と盛りだくさんの企画が行われました。本年度は二日目にジュニアミュージカル「風花」の公演が行われ、大変盛り上がりしました。

○第二回球技大会（十二月十五日）男子はバスケットボール、女子はドッジボールが体育

館で行われました。

○課題研究発表会(一月十九日)各系列から選ばれた代表の三年生が大田市民会館で発表しました。二年生によるインターンシップ報告や展示もありました。

新生徒会より

新生徒会長 今田 圭

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

この度、生徒会長になりました二年三組の今田圭です。

邇摩高校をこれから引つ張っていかれるかとても不安な気持ちで一杯です。まだまだ未熟な部分は沢山ありますが、自信を持ちながら日々成長していきたいと思えます。

また、地域の方々に応援される学校を目指したいと思えます。そのために、生徒会を中心に色々な運営をしていきたいと考えています。そして、地域の方々との交流を通じて地域貢献を果たしていきます。

体育祭などの行事を全校生徒の心に残るように一日一日頑張っていこうと思えます。これからも生徒一人一人が笑顔で楽しく過ごせる学校を目指し頑張ります。これからの新生徒会をよろしく願います。

後期部活動報告



○弓道

男子団体A 36射15中(予選敗退)
女子団体B 36射12中(予選敗退)

男子バスケット

○県選手権 邇摩38-112 益田

○女子バスケット

○県選手権 邇摩49-120 浜田

○県新人戦 邇摩22-110 三刀屋

○バレーボール

○県選手権 邇摩1-2 石見智翠館

○県新人戦 邇摩0-2 大田・出雲西合同

邇摩0-2 松江南

○男子ソフトテニス

○新人戦

団体一回戦 邇摩0-2 石見智翠館

○女子ソフトテニス

○県新人戦

団体一回戦 邇摩2-1 出雲農

○卓球

○一年生大会 森山理 ベスト32

○県選手権

男女シングルス 三回戦 森山理

妹尾

森山結 進出

○県新人戦

男子シングルス 二回戦 森山理 進出

○バドミントン

○県選手権 個人 男子D ベスト32

○県新人大会

団体 男子一回戦 邇摩2-1 松江農

女子一回戦 邇摩0-3 松江南

○野球

○秋季野球大会 一回戦 6-5 飯南

二回戦 2-7 開星

○平成28年度石見地区高等学校

一年生野球大会 一回戦 6-10 大田

○柔道

○県新人戦 男子団体5位(中国新人出場)

男子個人 石田・花田3位

女子個人 松原 準優勝

○中国新人戦 男子団体(予選1勝2敗)

○県選手権 男子団体 5位

男子個人 花田・信上・松村3位

女子個人 田中・石田・八木橋5位

○吹奏楽

○全日本吹奏楽コンクール島根県大会

高校小編成の部 金賞

○写真

○秋季写真コンクール 特選

井上美咲・竹下未空・武間裕貴

二段亮仁

○島根県高等学校写真展

審査員特別賞 8位 竹下未空

入選 15点

○書道

○県書道コンクール

特選 波多野早南・宅和菜々・山内美空

秀作 平田朱音・中倉楓・山下真帆

佳作 公田咲里

○県書道展 奨励賞 波多野早南

○ビジネス部

○全国高校珠算・電卓競技大会県予選

【珠算部門】 個人総合競技 橋坂 唯

【珠算部門】 読上暗算優勝 橋坂 唯

【珠算部門】 読上 優勝 橋坂 唯

【珠算部門】 ビジネス計算優勝 橋坂 唯

○文芸部

○県文芸コンクール

詩 部門 優秀作一位 菅堂桃香

(平成29年度全全国高等学校総合文化祭)

みやぎ大会出場権獲得

優良作 熊野御堂風華

宮脇美晴

中島玲奈

俳句部門

佳作 清水春花

優良作 宮脇美晴

佳作 鳴林 彩

○農業クラブ

○意見発表県大会

区分一類 優秀賞 岡田華澄

区分二類 優秀賞 足立昌優

区分三類 優秀賞 鉦 智恵美

プロジェクト発表県大会 区分一類

優秀賞 鉦智恵美・山田直樹

和田雅也・市原哲也

○家畜審査競技県大会

団体準優勝 邇摩Aチーム

邇摩Bチーム

個人優秀賞 足立昌優 八木橋諒大

その他

○第15回連歌甲子園

優秀賞 松本 菜々子

資格取得

○国語科

○漢字検定

準2級2名、3級10名

○英語科

○英語検定 3級7名

○家庭科

○食物調理検定

1級7名、2級3名

○被服製作検定

和2級5名、洋2級10名

和1級7名、洋1級8名

○保育検定

造形表現技術6級8名

言語表現技術7級8名

家庭看護技術7級7名

○ビジネス系列

○全商珠算・電卓実務検定

電卓1級3名

1級普通計算7名(電卓)

電卓2級14名

○全商簿記実務検定

2級2名

○全商情報処理検定

ビジネス情報

1級1名、2級3名

○全商ビジネス文書実務検定

1級2名、2級9名、3級68名

○農業系列

○乙種危険物取扱者 4類2名

○乙種危険物取扱者 5類1名

○乙種危険物取扱者 6類1名

○福祉系列

○介護職員初任者研修課程 17名

○認知症サポーター 41名

○あいさつサポーター 17名

○普通救命講習 17名

